
ストーンワールド

Klaus

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ストーンワールド

【Nコード】

N5032V

【作者名】

Klaus

【あらすじ】

主人公の風意が興味を持った都市伝説について調べていくうちに、何者かによって異世界に飛んでしまうお話です。

都市伝説

「あつすぎるーっ！」

そんなことを叫んだのはエアコンや扇風機といったものが一切見当たらない狭いアパートの一室だった。

突然叫びだした張本人、つまり俺、空野風意は今の叫び声の苦情が来ないかびくびくしながら、

PCをいじっていた。

「最近不調だなー。なんか面白いことないかなー？」

そんな俺の目に飛び込んできたサイトがあった。

都市伝説2011　～東京都版～　である。

幼い頃から「異世界」「伝説」「神話」といったものに目がない俺は、

早速のぞいてみることにした。

どうやらこのサイトは、地域別になっているようだった。

迷いもせずに「江東区」をクリックする。

もう八月だというのに、一件しかupされておらず、少々ムツとしながら

その記事を読んでみることにした。

最近、氷河神社近くにあるお地藏様にお参りをした人間が、

世界中のあちこちで発見されるという事件が起きている。

いまだに行方不明の人もいるようで、地域住民から

彼らの安否を心配する声があがっている。

2011、7.29.

「またこれかー」

読み終えた風意はため息をついた。

最近TVでも取り上げられていた「有名な」都市伝説だった。
おそらく、この記事もそれに便乗して作られたものだろう。

「でも、まあ暇だし 仕事ついで行ってきますかー」

風意は自分のかばんに自分のものではない鍵を入れると
部屋の外にとびだした。

仕事のあとで…

「あったあった、これが噂の地藏さんかー」

そうそうこの間に、俺は今月分の給料をかせいでいる。

「にしても、さすがは玉井邸、セキュリティ高すぎだろ ま、俺はあんなもの目つぶってても解けるがな」

そう、お気づきの人もいる通り俺は泥棒だ。怪しいやつではないから、怪盗ではない。

「とりあえず、おまいりしとくか」

道端で摘んだきれいな花をいけ、玉井邸にあった和菓子を供える。すると、お地藏様が淡く光った気がした。

「あれっ!？」

幻覚だ そう思って、おまいりの仕方を思い出す。

「えーっと、二拍 二礼 一拍だっけ…」

「何を言っているこのバカ者が! 二拍 一礼だ! それは神社じゃろう!」

周りを見回す、俺しかない。

「…うん。きつと夏バテで、幻聴が聞こえたんだ。」

幻聴だと思いつつ、怒鳴り声の指示に従う。

(仕事が失敗しませんように…)

「面白い人間が来たようだ…こいつならいけるかも…」

囁くように小さな声が聞こえた気がして、目を開くと、PCの前だった。合わせていた手の中には、きれいな石が入っていた。

(おいおい、俺って地藏の

『prrrr』

その思考を遮ったのは、PCのメール受信音だった。

脊髄反射のように、確認してしまう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5032v/>

ストーンワールド

2011年10月9日13時56分発行